

旧北上川水面利用者協議会設立趣旨

旧北上川河口部に長期にわたり係留されているプレジャーボート等船舶の一部は洪水の流下の阻害、流出した場合の河川管理施設や港湾管理施設等の損傷、高潮、津波により護岸施設を乗り越えた場合の近隣への被害、騒音の発生による周辺住民の生活環境の悪化、油漏れによる水質事故などを引き起こすことがあります。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災においては、石巻市でも放置船舶等が津波により市街地へ流出し、被害が拡大しました。

こうした状況を踏まえて、水面利用者、並びに沿川住民の意見を反映しつつ、船舶等の係留環境の整備等を進め、無秩序に係留されている放置船舶の係留施設への誘導や排除など、水面利用に関する事項について協議・検討を行い、旧北上川河口部の安全かつ秩序ある水面利用の維持増進を図る目的をもって「旧北上川水面利用者協議会」を設立するものである。

平成24年4月18日

旧北上川水面利用者協議会